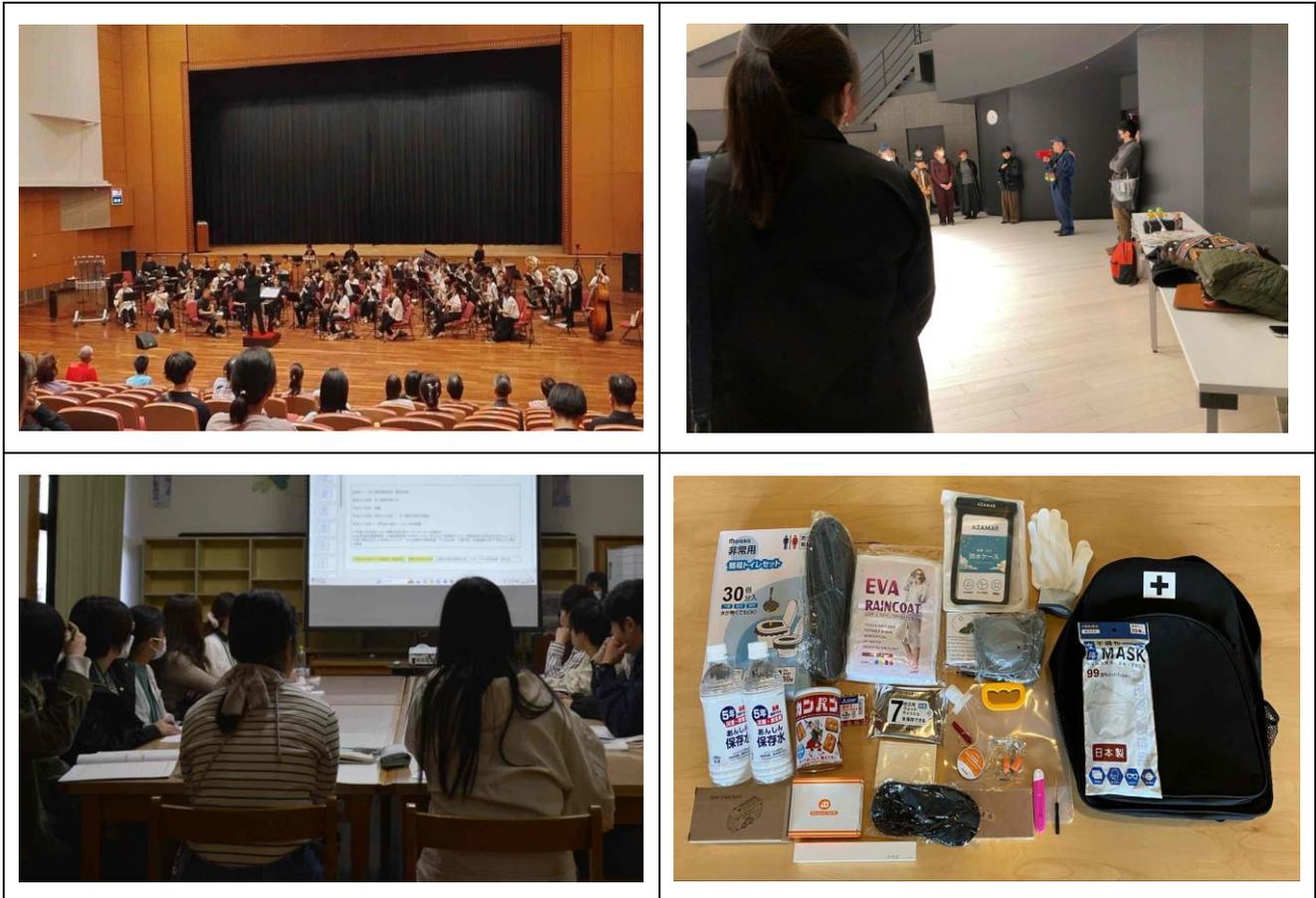


2024 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	サウンド・バーサーカー
活動テーマ	災害防止啓発・啓蒙活動



現代において災害は高度化・多様化・複雑化し、前代未聞の災害が次から次へと発生しているため、激甚災害に指定されたような災害も1年も経過すれば忘れ去られているのが現状である。次々と発生する災害に人々の記憶は塗り替えられ、早々に支援の手や善意の輪も断ち切れ、風化の一途を辿っている。現に、風化され、備えを怠っていたり、忘れ去られている家庭や事業所が多い。防災は日常からの備えからというのが基本であり、風化の防止と日常の備えを啓発・啓蒙するための活動をコンサートに取り入れ実演することにより、風化を防止し、防災意識の啓発・啓蒙をすることを目的として活動を実施。

防災に年齢も男女も立場も関係なく、災害は等しく全員に降り注ぐことから、啓発・啓蒙活動は全世代や立場の人間に向かって実施することが望ましいので、行く先々で啓蒙・啓発活動を実施していった。防災士や消防音楽隊の隊員経験者等現役で防災減災活動を実行している演奏者を有する当楽団において、広く草の根活動としてコンスタントに啓発・啓蒙活動を普及できているので、実践すること＝目的に沿った活動となっている。昨年9月に災害復興支援チャリティーコンサートを主催し、2025年3月には守口市図書館と協働で避難訓練コンサートを開催。コンサート時には、上記の外、消防吏員の避難訓練講評や実際の避難訓練を取り入れ、啓蒙活動を拡大実施。コンサート本体では演奏の外、AEDや防災、住宅用火災警報器(住警器)の文字を使った「あいうえお作文」やAED使用等の寸劇により防災普及を実施したもの。

防災の普及率を数値で具体的に提示するのは非常に困難であるが、少なくとも21事業所及び公演来場者数合わせて延べ2,200人以上に広く防災意識を啓発・啓蒙することができた。